

Jトラスト株式会社

第38回定時株主総会 質疑応答要旨

当社株主総会における株主様からの主なご質問とご回答の要旨です。

Q	国内ビジネスの戦略について
A	国内金融事業においては、銀行又は銀行系列との競合が前提となり、調達金利の差等から、独立系での事業拡大は厳しい環境にあるものと考えていますが、当社グループの今まで培ったノウハウを活かすことによって、保証事業は着実に展開できており、今後ともこちらに注力していきたいと考えています。

Q	今後の韓国事業について
A	韓国スタンダードチャータードキャピタル(株)及び(株)韓国スタンダードチャータード貯蓄銀行の株式を取得することにより、当社グループの韓国における貸付債権及び収益が飛躍的に増大するとともに、(株)韓国スタンダードチャータード貯蓄銀行の買収により、貯蓄銀行部門の営業エリアが、当社連結子会社の親愛貯蓄銀行と併せて韓国全土の約70%にまで拡大し、韓国全土に対してのTVCMなどを活用したマスマーケティングが可能となると考えています。為替変動リスクを回避しつつ、韓国事業の拡大を進めていきたいと考えています。

Q	韓国における上限金利引下げと損益影響の見通しについて
A	韓国における上限金利については、これまでも徐々に引き下げられてきた経緯があり、本年4月より年率34.9%となっています。今後、上限金利がさらに引き下げられる可能性はあると考えていますが、当社グループの親愛貯蓄銀行においては、新規貸付を既に年率20%台で行っていること、また、上限金利が引き下げられた場合には、融資基準の見直し等により、貸倒リスクをコントロールすることが可能であり、当社グループへの損益影響は少ないものと考えています。

Q	金融情勢が不安定な国・地域への投資戦略について
A	金融情勢、経営環境が厳しいところにこそビジネスチャンスがある、という見方もできると考えており、そういう状況下でも国内金融事業を拡大させてきたという実績もあります。そういう機会があれば、案件次第にはなりますが、積極的にチャレンジしていきたいと考えています。

以上